

2017年は過去5番目に高温で乾燥した年 フランス

2017年は過去5番目に気温が高く雨が少ない年だった、と発表されました。

フランス気象局（Météo-France）によると、年間の平均気温は通常を0.8度も上回る13.4度を記録し、これは1900年の統計以来、過去5番目に高い記録です。特に、2月、3月、6月は通常よりも2度も以上高く、1900年以降2番目の記録です。これまでに、1959年、2003年、2011年そして2015年が最も高温で乾燥した年として記録されています。

また、降水量も例年より10%以上低く、特に4月と10月の降水量は例年の50%を下回ったと報告されています。また、5月から11月の間は、コルシカ（Corse）島を含む地中海周辺ではほとんど降雨は観測されず、プロヴァンス・アルプス・コートダジュール（Provence-Alpes-Côte d'Azur）地方では、例年の40%の降水量となりました。

一方、1月と2月にはコルシカ島では記録的な大雨と大雪が観測され、2017年は気候変動の影響が顕著に表れた一年となりました。2018年は一体どのような年になるのでしょうか。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

